

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

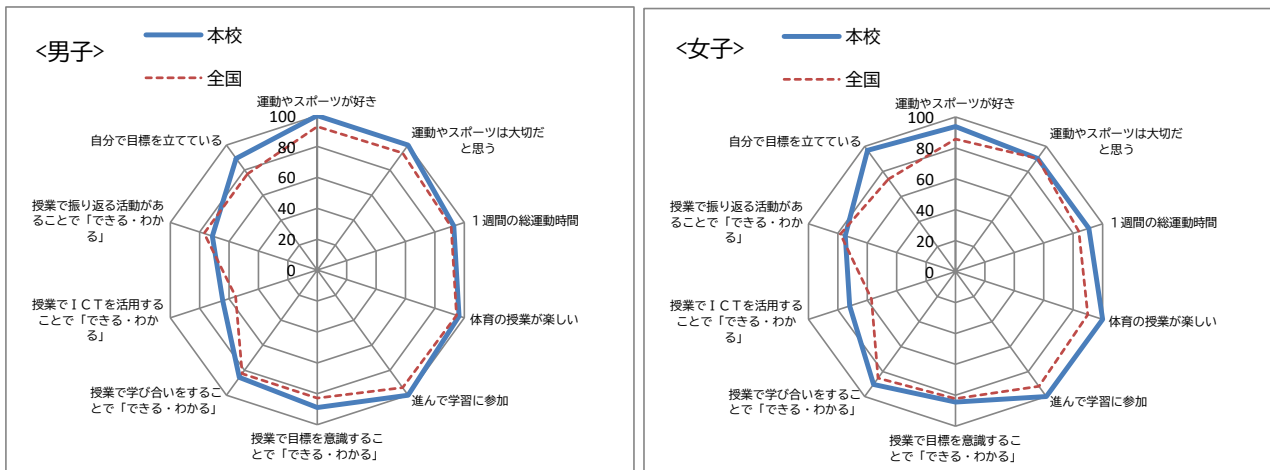
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目	○	○							

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目		○	○		○	○			

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○調査結果より、運動やスポーツが好きだと答えた児童の割合が全国平均よりも多い。引き続き運動の楽しさを実感できるように取り組んでいきたい。
 ○課題として、「できる・わかる」を実感できる学習展開の工夫が十分でないことが調査結果より分かった。これらに対して、校内研修などを通して、体育主任を中心に授業改善をさらに進めていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○簡単に行える運動で、できる、楽しいと思える児童を増やすため、楽しい体育学習を設定する。体育の授業での準備運動で、休み時間や放課後にできるような運動を取り入れていく。
 ○4年生以上の体育科の学習で専科指導を導入し、楽しくながらも、より専門的で児童の体力を伸ばす授業を研究し実践する。
 ○苦手な運動へのハードルを少しでも下げるため、各学年の課題および実施単元をふまえた準備運動や補助的な運動を実施をする。(体育『好きっチャ』プログラムから選択)

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○スポーツ委員会が休み時間に、運動場で安全に互いの距離を保ちつつ、運動に親しむことができるよう見守り活動を行った。
 ○体育科の学習で行っている運動に応じて、学級貸出用のボールの種類を変更したり、運動場にラインを引いてコートを整備したりすることで、体育科の学習が休み時間等の運動に生かされるよう工夫した。
 ○今回の結果をHPに掲載し、学校通信等で知らせるなどして、生活習慣の改善を図るよう促す。